

持続可能性の推進

サステナビリティレポート 2019



最高経営責任者のメッセージ

ADOLFO ORIVE

テトラパックグループ
社長兼最高経営責任者



さあ、食品・飲料業界の低炭素・循環型経済を一緒に実現しましょう。

この度テトラパックの CEO に就任いたしました。長年にわたり主要優先課題として持続可能性を追及している企業の先頭に立てることを誇りに思います。私たちが住む世界は、昨今めまぐるしく変化しています。この環境では、持続可能な未来の必要条件を認識して受け入れていく必要があります。特に、食品・飲料業界は、移行と変化の時期を迎えています。持続可能性がこれまでにないほど注目されていますが、新たな技術と革新的な思考によってそれに対応することができます。国連の持続可能な開発目標をテトラパックの事業活動の枠組みとし、この責任ある作業に貢献できることをうれしく思います。

消費者、お客様、従業員、そして社会の役に立つことを目標とするテトラパックにとって、持続可能性は最大の価値の1つであり、私たちが後世に残すべき遺産の重要な部分です。テトラパックは、持続可能性が生み出す進歩により事業で成功を収め、食品・飲料業界における技術革新を推進することができました。アセプティックソリューション、e-Beam 技術、再生可能な素材だけの容器、低炭素な操業などの技術革新は、持続可能性が常にテトラパックの存在理由であり事業活動の中心であることを示しています。

過去 18 か月の間に、廃棄物管理、プラスチック素材および再利用の可能性に対する圧力が強まるなど、持続可能性の状況は大きく変化しています。その結果、私たちはリサイクルと持続可能な素材に対するアプローチの考え方を変えました。2018 年、テトラパックは、食品安全に関する要求事項を満たしながら、再生可能な素材やリサイクル素材（またはそのいずれか一方）の使用や完全なリサイクルを目標に容器製品ラインナップのイノベーション戦略を強化しました。また、テトラパックはエレン・マッカーサー財団のイニシアチブ、New Plastics Economy Global Commitment（新プラスチック経済グローバルコミットメント）に署名し、コラボレーションを拡大して飲料用紙容器を世界規模でリサイクルするために、Veolia などの企業ともパートナーシップを締結しています。最終的に飲

料用紙容器がゴミとして捨てられ埋め立てられることなく、すべてリサイクルとして回収されることが目標です。

「大切なものを包んでいます」という約束は、常に向上が必要であることを意味します。使い捨てプラスチックの課題が深刻である一方で、食品・飲料業界の複雑なインフラストラクチャーへの気候変動の影響は計り知れません。気候変動による干ばつ、洪水、水とエネルギーへの不安定な供給などは、ビジネスを中断させ、テトラパックの事業活動、お客様、供給業者に影響を及ぼします。

これからの経済は食品のバリューチェーン全体への影響を最小限にする低炭素かつ循環型でなければならぬと、テトラパックは考えています。テトラパックではそれを実現するために、最小のカーボンフットプリントで最も効率が良いソリューションの提供、テトラパックの事業が及ぼす環境への影響の抑制、パートナーと連携した使用済みのテトラパック製品の対処に取り組んでいます。また、2020 年の炭素排出量削減目標に向かって順調に進んでいることを誇りに思います。

食品・飲料業界の低炭素・循環型経済の構築を成功に導くのは、コラボレーションの力です。テトラパックは、従業員の情熱、テトラパックの伝統である技術革新、社会貢献、そしてエンジニア、食の専門家、技術者による世界的なネットワークが持つ異なった視点を取り込んだ問題解決に支えられています。また、テトラパックに賛同したお客様が勇気ある一歩を踏み出してくれることも必要です。さらに、業界、政府、NGO に及ぶパートナーシップも欠かせません。

このレポートでは、これらの目標に向けたテトラパックの活動状況を報告しています。持続可能性の目標を達成することは簡単ではありません。しかし、食品の安全を支え世界のどこにいても人々が安心して利用できるよう取り組むことがテトラパックのポリシーです。食品加工処理と紙容器充填包装システムのリーディングカンパニーとして、テトラパックには業界に先んじて目標を達成する準備ができています。

ハイライト SDGs への貢献

私たちが直面している環境、社会および経済の課題は相互に関連し切り離すことができません。これは、**国連の持続可能な開発目標 (SDGs)** とされる 17 の目標と 169 のターゲットでも認識されています。この目標は、男女平等、持続可能な都市、きれいな水の確保、望ましい統治など多岐にわたる問題を対象にしているため広く知られるようになりました。目標について報告する際には、企業がそれらに対する貢献を理解していなければなりません。1つか2つのSDGsの進展を報告する一方で、他の目標のマイナスな影響を無視しては不十分です。

結局、ソリューションは統合できたものだけが機能します。そのため、テトラパックの持続可能性への取り組みは、その事業とお客様だけでなく、その先にあるバリューチェーン全体も対象範囲にしています。テトラパックでは、17の目標すべての

支援に全力を注ぎ、最も影響力がある目標を最優先にしています。テトラパックの持続可能性フォーラムは、全社から選抜された多様な経歴の上級管理職 10 名で組織され、2017 年初頭の分析と照合して事業活動の進捗状況を確認しています。この分析から、改善に必要な重要なポイントを導き出しています。

フォーラムでは、2030 年に向けた戦略への取り組みも行われ、重点課題（マテリアリティ）の特定プロセスのみでなく、SDGs でも詳細をお知らせしています。戦略は、既存の業績に基づき新しい意欲的な目標が設定されています。環境、社会、経済に新しい価値を見出す方法で、ビジョンの達成に向けより速く更なる高みに私たちを前進させることでしょう。

国連の SDGs への誓約

未来を守る



国連の SDGs への誓約



テトラパックでは、持続可能な地球の未来とお客様の長期的な成功を支援するために積極的に取り組んでいます。これにより、SDGs 6、7、9、12、13、15、17 に直接貢献しています。テトラパックは、低炭素・循環型経済の実現を約束します。このアプローチにより、気候変動とその影響に対して緊急のアクションを

とることでパリ協定の長期目標を達成するという SDG13 を支援するとともに、予防、削減、リサイクル、再利用による廃棄物の大幅な削減など、SDG12 の主要な目標「つくる責任、つかう責任」を支援しています。

▶ 詳細情報は、10 ページをお読みください。

食品を守る



国連の SDGs への誓約



お客様やパートナーと協力し、市場をリードする革新的な食品加工および包装技術により、食品を安全にどこでも入手できるようにします。このアプローチを通して、テトラパックは SDGs 2 および 12 に直接貢献しています。テトラパックのデイリーハブモデルは、新興経済国の小規模農家を

乳製品加工業者と結びつけます。テトラパックはこれらの方法で、農業生産性および小規模な食糧生産者の収入の増加など、SDG2 の主要な目標である「飢餓をゼロに」を支援しています。

▶ 詳細情報は、18 ページをお読みください。

人々を守る



国連の SDGs への誓約



テトラパックは、ともに働く人々を守り尊重します。また、一層の多様性と受容性を目標にたゆまぬ努力を続けます。テトラパックの企業行動規範は、自社の事業およびサプライヤーが守るべき高い基準を設定しています。これにより SDGs 8 および 17 に直接貢献しています。テトラパックの多様性および受容

性の方針は、若者や身体障害者を含み、男女を問わずすべての人が働きがいのある人間らしい仕事ができるように、SDG 8 の主要な目標「働きがいも経済成長も」を支援します。

▶ 詳細情報は、20 ページをお読みください。

ハイライト 抱負に対する進捗状況

テトラパックは2018年に、食品、人々および未来を守るという誓約を大きく前進させました。今年、私たちが最も誇りに思っている成果の一部をご紹介します。

🌲 **未来を守る**

気候
待ったなしの気候変動に対する対策。テトラパックの場合、気候に最も影響を与えるのは操業時のエネルギー消費

50% 
再生可能電力使用量の増加


8000万 
開発への投資
2019年から2021年までに、紙ストロー、テザー付きキャップ、および石油由来のプラスチックストローに代わるソリューションの開発への投資を約束

2010年からバリューチェーン全体を通して通算で

>1000万 
トン相当のCO₂排出量を削減



2000万 
リサイクルインフラの拡張支援に投資
(リサイクル業者自身の投資に加えて)

👤 **人々を守る**


-8% 
世界的な
労災事故

多様性
食品・飲料業界では女性の採用が課題。テトラパックは従業員の多様性を推進

女性上級管理職の増加

10%  **14%** 
2017 2018

学習
ミレニアル世代にとって新しい仕事をスタートする時に一番重要な要素は「十分なトレーニング」

~34 時間の
学習時間
各従業員の平均学習時間の増加
(2017年は29時間) 

🍏 **食品を守る**

食品入手可能性
世界では8億1500万人もの人々が栄養不良で、その多くが子供たちです

学校給食プログラムや栄養プログラムにおける技術サポート

 **40+**
か国

106%  **5** つの
新しい
デリーハブ
デリーハブプロジェクトへの投資の増加

牛乳の品質向上や、食品ロスの削減、農家の収入と産業の成長を支援

食料安全保障
小規模農家による牛乳の生産は世界の生産量の42%。1年あたり3億6,100万トン相当

平均すると
28,700 
軒以上の小規模農家がデリーハブを利用して、テトラパックのお客様に供給する牛乳の生産性を向上

稼働中の充填機： >8,700	稼働中の食品加工処理機器： >81,000	従業員数： 25,488	容器販売個数（億）： >1,890	2018年度売上高（億ユーロ）： 112
------------------------------	------------------------------------	------------------------	--------------------------------	--------------------------------

ハイライト ステークホルダーの声

対話

テトラパックの業務において、ステークホルダーとパートナーは不可欠な存在です。私たちは協力関係、業界が直面する課題、変化を生み出す機会について、複数のステークホルダーと対話を続けています。次にステークホルダーの声を一部紹介します。www.tetrapak.com では、より多くの意見をポッドキャストシリーズで聴くことができます。

www.tetrapak.com



パートナーシップによる 大変革

「法律の対応は、使い捨てプラスチックに関して大きく変化しています。テトラパックと Veolia は、この新しいパラダイムを捕らえ、リサイクル過程で処理が最も難しいとされるポリアルの新しいソリューションをお客様に提供するチャンスに変えました。」

Veolia
シニアエグゼクティブ
ディレクター
DAVID COX



責任ある森林管理のための提携

「当社は 2016 年から、紙容器の CO₂ を計測する Carton Calculator でテトラパックと協力しています。このツールキットは、製品のフットプリントの見える化を目的としています。私たちは、この計算ツールキットのバックボーンである管理システムを認証しましたが、キャップとフィルムをバイオベースに変更すると、製品自体が削減に貢献することを証明できたことが重要な点です。これにより、環境保護の視点で持続可能なオプションとして最も良い選択肢をお客様に勧めることができます。」

カーボントラスト
(CARBONTRUST)
シニアマネージャー
SILVANA CENTTY



かつてないビジネス環境

「ビジネスの状況変化が速くダイナミックなため、もはや過去のビジネスを参考に論じることはできません。私たちは経済界が団結して持続可能な経済に近づく道筋を見つけるために、テトラパックと協力しています。」

ケンブリッジ大学サステナビリティリーダーシップ研究所
オープンプログラムおよび国際市場責任者
ARIS VRETTOS



世界中どこでも食品を入手可能に

「子供たちが危険な食べ物から病気になるのを見たいと思う人はいません。テトラパックが使用している容器や素材の品質は、食品の安全性に大いに役立ちます。そして、テトラパックの製品を最も必要としている人々に確実に提供するために私たちは協力しています。」

世界児童栄養基金 (GCNF)
取締役
ARLENE MITCHELL



責任ある森林管理のための提携

「10 年以上にわたるテトラパックとの協力関係から得たまたとないチャンスは、消費者が毎日 FSC のロゴを目にすることででした。私たちは世界中が一体となって、責任ある森林管理と再生可能な原料を容器に使用することを促進しています。」

FSC® (森林管理協議会 : Forest Stewardship Council®)
事務局長
KIM CARSTENSEN



優れたガバナンス、透明性、報告体制 持続可能なビジネスの強固な基盤

テトラパックでは、優れたガバナンスは健全なビジネス、つまり良いと思うことを実行することだと考えています。

テトラパックのガバナンスの枠組みは、業務全体の倫理的で責任ある行動を保証しています。それはブランドとしての約束を果たしながら、常に規則や法律に従うことを意味します。ガバナンスは、テトラパックのグローバルリーダーシップチームの責任において履行されますが、ガバナンスを維持管理するのは、コーポレートガバナンス事務局、および地域のガバナンス担当者としてリスク担当者のネットワークです。

テトラパックはポリシーとガイドラインを2018年に大幅に見直し、2019年に更新が完了する予定です。法人組織の取締役会の新しいオンライン登録は、テトラパックのすべての法人が対象で、テトラパックの取締役のトレーニングプログラムとともに2018年に構築されています。

また、2018年にはすべての従業員が対象のコーポレートガバナンスの必須トレーニングプログラムも完成しています。

テトラパックでは、リスク管理の方法と管理システムを継続的に更新し、新たに単一のオンラインプラットフォームを構築しました。このプラットフォームにより、リスクを目に見える形で確認し、リスク軽減に対応する方法とタイミングを迅速に決定することができます。

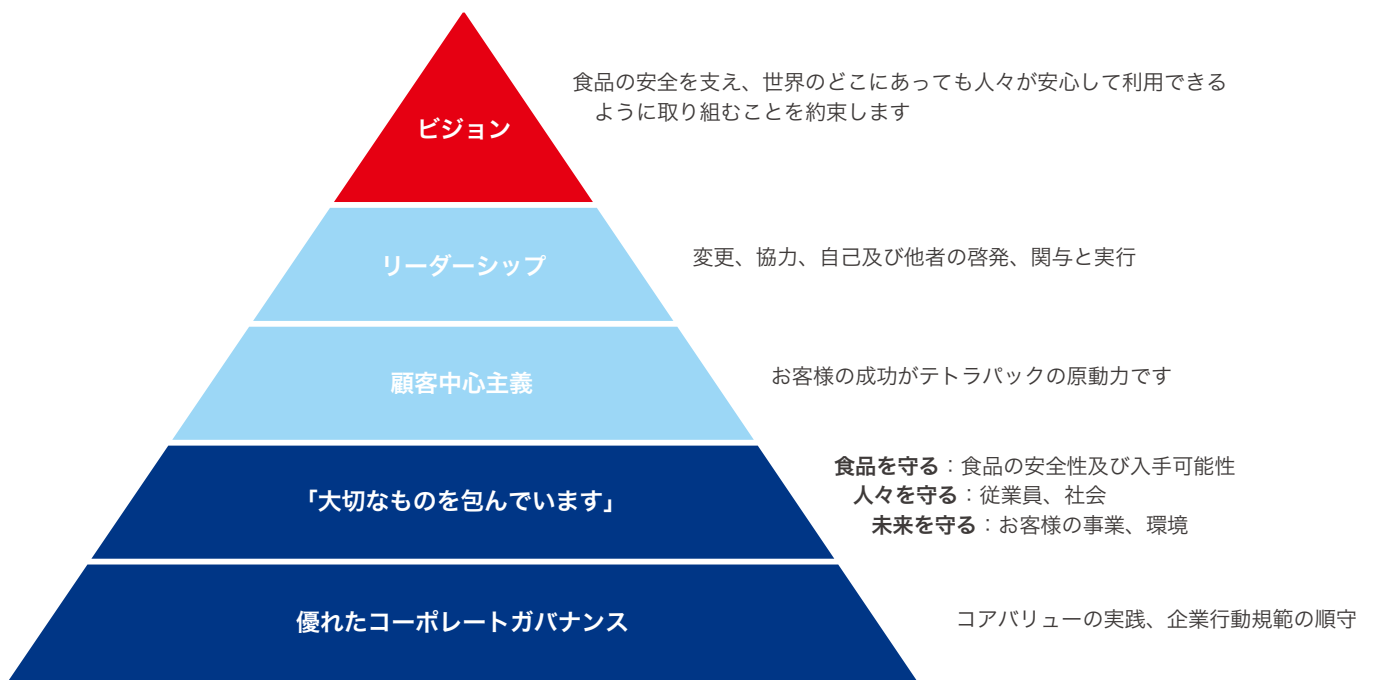
サプライヤーに対しても、常に倫理的なビジネスの実践を推進するように、Supplier Ethical Data Exchange (Sedex) システムを介して呼びかけを行っています。さらに同じく2018年には、EcoVadisと協力して調達チームによるサプライチェーンの環境問題、社会問題、ガバナンスのモニタリングを強化しました。

不正防止はテトラパックのコーポレートガバナンスの重要な部分です。テトラパックでは汚職、贈収賄、詐欺行為を一切容認しません。誰でも、業務規範に対する実際の違反や違反が疑われる事案、またはその他の非倫理的行為について、コーポレートガバナンス事務局または監査責任者に直接、匿名で報告することができます。報告の行為は決して処罰の対象にはなりません。

▶ [テトラパックのガバナンスに関する詳細はこちら](#)

ECOVADIS からのゴールド評価

2018年、テトラパックは、持続可能性評価プラットフォーム、EcoVadisから初めてゴールドの評価を獲得しました。EcoVadisは、企業の社会的責任（CSR）のパフォーマンスを評価する組織です。



優れたガバナンスは、戦略の本来の意味やリーダーシップとしてのアプローチを分かりやすく示し、最終的に、食品の安全を支え、世界のどこにあって人も安心して利用できるように取り組むというテトラパックのビジョンを実現させます。



未来を守る

低炭素・循環型 経済への移行





飲料用紙容器の貢献

低炭素・循環型経済の構築

リサイクルおよび資源効率の重視

テトラパックの容器の存在価値とは、食品の安全を支え、世界のどこにあって人も安心して利用できるようにすることにあります。循環型経済は、廃棄物を削減して原料をより長期間使用する再生モデルという意味で、テトラパックにとって重要です。

テトラパックのビジネスは、最小限の廃棄物と最適な資源の使用を基本に設計されていますが、常に包装、加工およびサービスのソリューションが与えるライフサイクルへの影響を軽減する努力を続けてきました。テトラパックは、パリ協定への誓約に従って二酸化炭素の排出量が少ない、最終的にはクライメイト・ニュートラルな循環型経済の構築に力を注ぎ、現在の経済活動から炭素排出を撲滅できる二酸化炭素の排出がより少ないソリューションを提供し続けます。

パートナーシップとコラボレーション

循環型経済には、調達および製品設計から、消費者意識、回収・分別、リサイクルおよび市場に至るまで、製品のライフサイクル全体でコラボレーションが必要です。テトラパックはバリューチェーンの構築と並行して、強固な基盤と革新的なパートナーシップも構築してきましたが、劇的に変化させるには誰もが同じようにステップアップする必要があります。汚染の原因となるプラスチックの使用に反対するうねりやそれに伴う社会的、法的な規制は、循環型経済への迅速な転換が必要なことを物語っています。

低炭素・循環型経済への
テトラパックの取り組み

「テトラパックは、SBTi の評価プロセスを経験した最初のパッケージング企業でした。2020年と2030年に向け設定された先進的な目標には明白な科学的根拠がありました。これこそが、テトラパックの取り組みが信頼できる証です。」

WRI

コーポレートリレーション&
コミュニケーションマネージャー
EMILY NEAGLE



テトラパックは、食品のバリューチェーン全体が気候に及ぼす影響を最小限に抑えるという低炭素・循環型経済の実現に取り組んでいます。

新しい現実のための新しい経済

「テトラパックのような企業は、非常に重要で厳しい課題に直面しています。私たちには品質とコストという点で、消費者が求めるすべてを提供できる包装システムが必要です。同時に、気候変動と汚染を取り巻く新しい現実を受け入れる必要があります。それは、より高いリサイクル率を目標にバリューチェーンのすべてのパートナーと連携して新しいシステムを定義し、この新しい状況と整合するビジネスモデルを探し求めることを意味します。」

SYSTEMIQ

共同創設者兼マネージングパートナー
MARTIN STUCHTEY



テトラパックのポートフォリオ戦略

再生可能なパッケージ

- 完全に再生可能なアセブティック紙容器の導入
- 植物由来の製品の開発および導入促進

持続可能なオープニング

- 紙ストロー
- 取り外せない代替部品
- 生分解性ストロー
- テザー付きキャップ

リサイクルされた資材

- 一次包装および二次包装における再生ポリマー、再生紙などの資材の使用

計画的なリサイクル

- 新しい包装材料の構成を調査
- 回収、分別、リサイクルを可能にするスマートパッケージ

循環型製品ラインナップの構築

テトラパックの目標は、低炭素・循環型経済、および最終的にはクライメイト・ニュートラルな循環型経済の一因となる容器、すなわち再生可能資源とリサイクルされた資資源またはそのいずれか一方で作られ、完全にリサイクルが可能で、食品安全に関する要求事項を満たす容器を提供することです。

2018年に、テトラパックは完全に再生可能な容器製造を構築する戦略に沿って、新しいクロージャーのポートフォリオに大きく投資して海洋ごみへの取り組みの第一歩を踏み出しました。

今後5年間、テトラパックは、紙ストロー、テザー付きキャップやその他の飲料用システムなど、容器に添付されたストローの代替となるソリューションの開発に毎年約1億ユーロを投資します。できる限り迅速に紙ストローを実用化し、2019年に市場トライアルを開始する予定です。

エレン・マッカーサー財団の新プラスチック経済に対する誓約の一部として、テトラパックは、適切な食品等級の再生プラスチックが技術的かつ経済的に利用可能であることを条件に、2025年までに再生プラスチックの含有量を飲料用紙容器全体で平均2%以上にします（ヨーロッパ市場）。テトラパックは2018年に5億個の完全に再生可能な容器を市場に出荷しました。今後は再生プラスチックの二次包装と配布資料での使用を加速させます。

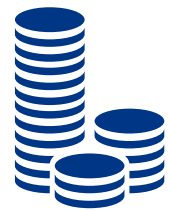
将来に備えて、未使用プラスチックに対抗する再生プラスチックの市場は成長を続けなければなりません。再生プラスチックが食品接触包材として安全だと認められるとき、その先頭にいるのはきっとテトラパックです。再生プラスチックが認められるまで、テトラパックはリサイクルや再生が可能な製品のラインナップを増やし、紙ストローとテザー付きキャップで捨てられるプラスチックに対応することでしょう。また、バリューチェーン下流の関係者（たとえば Veolia）とのパートナーシップをより強化して、リサイクル率を増やし環境への影響を低減します。

今後3年間におけるテザー付キャップの開発投資 (5000万ユーロ)



プラスチックストローの代替となる紙ストローや代替ソリューションの開発投資

€30M



今後3年間で3000万ユーロ

低炭素パッケージの選択肢としての紙容器



お客様はテトラパックのCO₂カリキュレーターから得た情報を参考に、当社のパッケージングソリューションの約45%から任意のソリューションを選択することができます。Carton Trust社により検証されたカリキュレーターは、テトラパックの容器が工場から出荷される瞬間までのCO₂フットプリントを測定します。これには、原材料の調達および工場までの輸送に関連する影響、および包材の処理工程も含まれます。



責任ある資源調達 適切な購買

貴重な資源の保護

国連グローバルコンパクト (UN Global Compact) に加盟し、SDG12 を推進するテトラパックは、サプライヤーやその他のステークホルダーとともに人権、労働基準および環境分野の改善を継続的に推進し、汚職撲滅に取り組んでいます。数千のサプライヤーと協業する大手グローバル企業のテトラパックの購入は、人、環境および経済に大きな影響を与えます。

責任ある調達は、テトラパックのサプライヤー管理組織の戦略的目標の1つです。テトラパックは、サプライヤーに対して、テトラパックのサプライヤー向け行動規範を承認することを求め、定期的にデスクトップ評価と現地監査により、パフォーマンスを行動規範と照合します。これらの活動は、テトラパックの調達プロセスに組み込まれ、コーポレートガバナンスの枠組みの一部になります。テトラパックの目的はバリューチェーン全体のコンプライアンスの向上や継続的な改善ですが、これにはサプライヤーとの協力が欠かせません。

2018年には、サプライヤー管理リスクディレクターにより、責任ある調達とリスク管理が一層強化されています。テトラパックはEcoVadisと協力して、国とカテゴリーリスクの両方でサプライヤーの基準を明確にしました。その主な目的は、責任ある調達の評価と監査に準拠したサプライヤーを選択するためのより客観的な基準を決定することでした。

責任ある調達のオンライン研修がテトラパックアカデミーに追加され、すべてのサプライヤー管理担当の従業員を対象に必須のトレーニングに位置付けられています。トレーニングは、意識の向上や生産能力のアップに力を発揮しています。

テトラパックは毎年調達する310万トンの原材料（板紙、ポリマー、アルミニウム）について、さらに厳しい基準を設けました。

テトラパックの戦略的なサプライヤー管理プロセスには排出物質の削減目標が含まれ、これらの数値目標はサプライヤーの実績の比較の一部として報告されます。目標値を改善する1つの方法として、原材料の購入割り当てを調整し、二酸化炭素を最大限削減することに貢献しています。これと同様に重要なのは、生物由来のポリマーなどの代替材料の調達です。これらの代替品は持続可能性やテトラパックの紙容器製品ラインナップに不可欠で、しかも他の調達と同じように責任ある方法で行う必要があります。

森林のための提携

テトラパックの紙容器の原材料は約71%が板紙です。板紙を責任ある方法で調達することは、森林破壊から森を守り続けるために不可欠です。テトラパックは森林の所有も管理もしていませんが、購買した量と見合う分を持続可能な森林管理と生物多様性の保護に還元しています。

そのために、サプライヤー、非営利団体および他のステークホルダーと協力して、責任ある森林管理を推進し、認証やラベル表示を通してトレーサビリティを強化しています。テトラパックにとって2018年は大きな節目の年でした。2007年の導入以来、お客様が生産したFSC® (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会) ラベル付きパッケージ (テトラパック FSC® ライセンスコード: C014047) の総数が4600億個を超えたのです。

森林の世界的な保全が必要とされている今、テトラパックはFSCとより緊密な関係を築き、FSC認証の商品を拡充して、FSCラベル表示を促進しています。今後も引き続き地域的な販売キャンペーンを通して、お客様と協力してFSCを推進します。2018年には、FSC認証の原材料の測定方法と管理方法が見直され、自社の紙容器にFSCロゴを表示するお客様の数が増えています。



テトラパックは、木材の調達と生産に関連するリスク管理および緩和への取り組みが認められ、3年連続でCDPの森林プログラムでAリストに選定されました



テトラパックとWWFとの10年に及ぶパートナーシップは、責任ある森林管理を推進する共通の取り組みに基づいています。GFTNへの参加もその取り組みの1つです



FSCは、世界の森林の責任ある管理を推進する国際非営利団体です。テトラパックの板紙はすべてFSCに認証された森林、または他の管理された森林から調達されています

2007年に最初のパッケージを販売して以来、2018年末までに

4600
億個
以上の
FSCラベル付き
容器を販売



'A'リスト入り
3年連続でCDPの森林プログラムのAリストに選定。テトラパックはこの実績を持つわずか7社のうちの1社

ポリマーを大局的に見る

テトラパックの紙容器には、ポリマーすなわちプラスチックの薄い層があり、それが湿気を防止して紙容器内の製品の鮮度を保ちます。ポリマーはキャップ、クロージャー、ストローにも使用されています。テトラパックの長期的な目標に、すべての冷蔵および常温保存可能な紙容器に使用されているポリマーを石油由来から再生可能な素材またはリサイクル材に切り替える計画があります。

切り替えと一言で言ってしまうれば簡単ですが、バイオベースのポリマーが従来の石油由来と同等に機能するには、長期的な開発や調査が必要になります。再生可能なポリマーのバイオ原料は枯渇しませんが、変換技術は緒に就いたばかりです。本格稼働していないバイオポリマーですが、テトラパックではバイオポリマーの調達にもすでに他の調達同様に責任ある調達を求めています。

これ以外にこの分野で特筆すべきなのは、バイオエタノールのサプライヤーと天然資源の持続可能な管理と調達を支援する世界的リーダーの ProForest との連携でしょう。また、再生可能なポリエチレンを製造するサプライヤーの全行程は、サトウキビ農園から生産設備に至るまで Bonsucro CoC により認証されています。



再生可能なポリエチレンに使用されるバイオエタノールのうち 60%が Bonsucro 認証を取得しています。



テトラ・レックス® バイオベース容器の歩みは 2007 年に始まりました。それは、テトラパックにとって再生可能な資源だけで出来た容器を開発するという目標達成のための最初の一步となりました。今日では、Bonsucro 認証を取得した再生可能なポリエチレンも提供しています。



「テトラパックの紙容器は、主に責任ある方法で調達された板紙で出来ています。ただし、保護層、キャップ、クロージャー、そしてストロー用の梱包材にポリマーが使用されているため、プラスチック廃棄物の問題に対処することも私たちの責務であると考えています。」

アルミニウム：業界を持続可能性に導く

常温保存可能な紙容器の内側には、人間の毛髪の 8 分の 1 の薄さのアルミニウムの層があります。これが酸素と光の進入を防ぎ、傷みやすい食品を常温かつ保存料なしで数か月安全に保ち、食品の保存と流通を通じてエネルギーと二酸化炭素排出量を大幅に削減します。極めて微量ではありますが、テトラパックの原材料が気候変動に与える影響の 3 分の 1 はこのアルミの層が原因です。そのため、代替となるバリア素材の研究・開発を進めながら、使用量を削減する技術の改良を重ねています。2018 年には、アルミホイルのサプライヤーに対し、より厳しい二酸化炭素排出量の目標を設定しました。

また、ASI (アルミニウム・スチュワードシップ・イニシアチブ) の創立メンバーとして、テトラパックは数年間にわたり目的を共有する組織とともに、責任あるアルミニウムの製造や使用を可能にする独自のバランスの取れた基準の開発に人的資源および財源を投資してきました。昨年 11 月、テトラパックは ASI の Production Standard の認定を受けました。アルミニウムの持続可能な調達を証明する、アルミニウム生産者、加工業者、産業ユーザーの最初のグループの一員であることをうれしく思います。



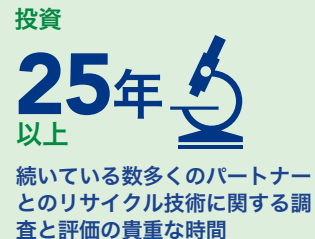
飲料用紙容器 リサイクルと製品寿命

飲料用紙容器リサイクル：全体的なアプローチ

テトラパックでは、リサイクルは低炭素・循環型社会を実現するための重要な鍵になると考えています。循環型経済は持続可能なリサイクルバリューチェーンに依存します。紙容器は確実に回収、分別、リサイクルされてこそ価値があります。リサイクルバリューチェーンがうまく機能すれば、ごみのポイ捨て防止、資源の節約、気候への影響の軽減が実現します。テトラパックでは2018年、グローバル規模で持続可能性に関する組織を再編成し、新しくサーキュラーエコノミーチームを発足しました。これは、事業全体でリサイクル促進への活動の足並みを揃えるためです。

昨年11月、テトラパックはVeoliaとの新しい重要なパートナーシップを発表しました。このパートナーシップは、2019年に大幅に強化する予定です。このパートナーシップにより、2025年までにEU圏内で回収される飲料用紙容器の全要素がリサイクルの対象になります。Veoliaとのインタビューおよびリサイクルマップは、リサイクルに対する地域的な取り組みが、循環型経済へのシフトをどのように加速するかを示しています。

テトラパックのビジョンは、飲料用紙容器がゴミとして捨てられ埋め立てられることなく、すべてリサイクルのために回収されることです。テトラパックは、パートナーシップ、お客様との連携、業界全体、およびリサイクルのバリューチェーンの関係者すべてに対してオープンな方法でアプローチします。



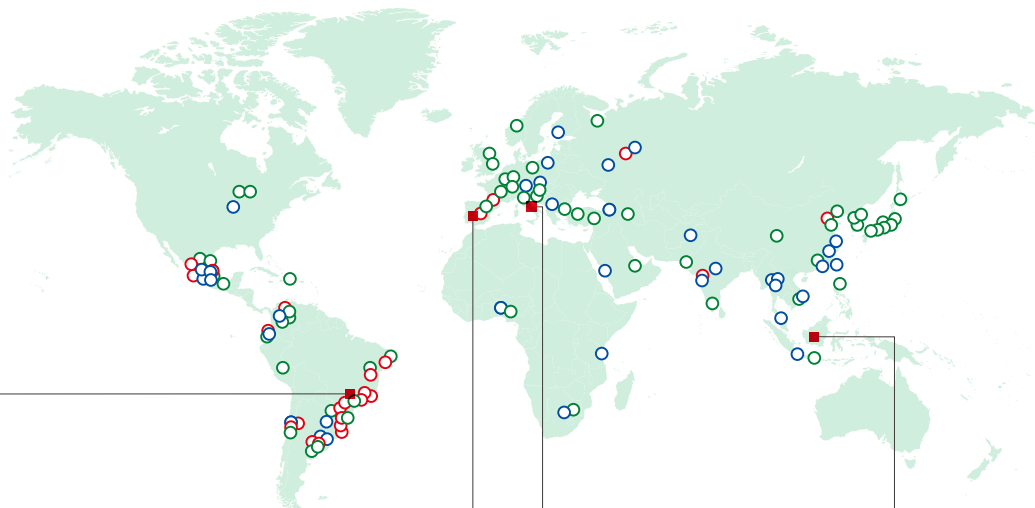
人材



コラボレーション



テトラパックはAlliance for Beverage Cartons and the Environment (ACE)のメンバーとして、ポリマーやアルミニウムなど、紙以外の成分を含む飲料用の紙容器のリサイクルを促進する、EXTR:ACTプラットフォームの設立にも参加しました。



ブラジル

2007年以来、テトラパックはブラジルのリサイクル業者のRevitaと協働しています。最近、テトラパックはこのパートナーの工場で新しいプロセスに投資し、ポリアルの処理および洗浄能力を向上させることができました。この新しい取り組みにより、乾燥および洗浄した使用済みのポリアルの残留繊維、水分、その他の汚染物質をすべて除去することができ、ポリアルをプラスチック材料として容易に販売できるようになります。

スペイン

エル・ブルゴ・デ・エプロ（サラゴサ）のSaicaは、主にスペイン、ポルトガル、フランス南部で分別回収された120トンのUBC（使用済みの飲料用紙容器）をリサイクルすることができます。

イタリア

Lucartは、多種多様な包装紙および紙とティッシュペーパーの生産を手掛けるヨーロッパ最大の製紙メーカーです。テトラパックは、Lucartと協力してイタリアの紙容器回収システムを変えようとしています。実現すればLucartが受け入れる使用済み飲料用紙容器が大幅に増加し、リサイクル製品の生産能力が向上するに違いありません。

インドネシア

インドネシアのLeo Graha Sukses Primatamaは、テトラパックと10年以上連携して、使用済みの飲料用紙容器をリサイクル紙に再生しています。修理と材料を定期的にアップグレードすることで、毎月合計4,000トンの紙を生産することができます。2018年からLeo Graha Sukses Primatamaでは、紙容器のポリマーとアルミニウム層を屋根のシートにリサイクルする事業も開始しています。

事業全体にわたる持続可能性 テトラパックの装置



摩擦低減によるエネルギー消費削減

テトラパックは2018年5月に乳業用の Encapt 技術を使用した大容量セパレーターの販売を開始しました。この技術は、回転しているボウルの周囲の圧力を下げ、空気摩擦を減らすことによってエネルギー消費量を削減します。

新しい Encapt 技術™と確立された AirTight 設計により、従来のセパレーターと比較しエネルギー消費量を40%も削減できます。

- テトラパックは、紫外線、フィルトレーション、アセプティック技術の組み合わせにより JNSD 飲料ラインを大幅に改良しました。製品の安全性と品質を維持しながら、テトラパックは全体的なエネルギーコストを徹底的に削減します。テトラパックのホワイトペーパーの事例研究では、ジュース製造でエネルギー消費量の67%の削減、水の50%の節約を実現した例が実際に紹介されています。

▶ 詳細はこちら

- 高品質、大容量のアイスクリーム製造：テトラパック® エクストルーションホイールにより、お客様は均一で高品質なアイスクリームを製造することができます。しかも、必要最低限のコストで業界最大の生産量が実現します。

▶ 詳細はこちら

テトラパックのアイスクリーム製品用エクストルーションホイールは廃棄物を削減：



お客様への循環型の提案

テトラパックは2018年に、循環型経済へのシフトの象徴となる新しい部門 - Certified Renovated Equipment を立ち上げました。簡単に説明すると、中古の装置を販売する部門です。回収された中古の装置は入念に修復され出荷されます。これは廃棄物の削減というアプローチで大変効果的です。

この新しい試みは、競争力のある製品ラインナップ、エンドツーエンドのプロセス、世界規模のサプライチェーンの3つの主要な柱が中心となって支えています。2018年には106台の充填機と下流装置が改修されていますが、この数字は新しい部門の成功を物語っています。また、テトラパックは約15,000のメンテナンスユニットも販売しました。これらのユニットは単一の部品を使用するメンテナンスに代わる選択肢で、ダウンタイムを短縮することができます。ほとんどのユニットは、新品と同様の状態にメンテナンスされて販売されます。これにより、毎年約5トンのチタンが節約できます。

テトラパックの目標は、製品とサービスを通じて、お客様の価値を創出することです。私たちは、厳しい品質基準と安全基準を満たし、環境負荷を低減する一方で、目標を達成する新しい製品とプロセスの開発に力を入れています。

お客様を理解する

テトラパックとお客様とのお付き合いは、ほとんどの場合何十年にもわたり、お客様とは長い時間に培われた貴重な関係にあります。この関係を維持することができたのは、複雑な課題に対する最も持続可能で費用効果の高いソリューションを求める気持ちと同じだったからです。

テトラパックのカスタマーバリュープロポジションは、お客様が中心です。お客様の現場で問題になっていること、期待に沿うことができていないことを常に把握するために、パフォーマンスフィードバックを定期的に、また継続して収集しています。

効率的な装置とソリューション

お客様はテトラパックの装置を使用して、製品を加工して包装します。テトラパックは、使用するエネルギーや水の削減、コストの削減、効率の良い稼働、最小限の廃棄物や製品の廃棄といったお客様の共通する問題を、お客様と一緒に解決しています。これらの地道な作業が、お客様のブランド力を強化し、食品産業を持続可能な成長に導きます。

テトラパックでは製品および技術設計プロセスのすべての段階に環境アセスメントを組み込むことで、ここ数年の間に大幅な節約を実現させました。たとえば、エネルギー効率の改善により、UHT牛乳のベストプラクティスラインでは使用するエネルギーと水がそれぞれ15%と50%削減され、2010年と比較すると、廃棄される製品が10%も低減しています。

お客様が実行しているソリューション：

- 食品製造のために特別に開発されたテトラパック® プラントマスターオートメーションソリューションを使用する中国の Bright Dairy は、MES（製造実行管理システム）が提供するトレーサビリティおよび環境モジュールにより、食品ロスを回避し、カーボンおよび水のフットプリントを削減することに成功しています。

▶ 詳細はこちら

- テトラパックではUHT牛乳製品および技術設計プロセスのすべての段階に環境アセスメントを組み込むことで、ここ数年の間に大幅な節約を実現させました。

▶ 詳細はこちら

UHT牛乳の
ベストプラクティス
ラインでの節約



環境への影響 気候変動への対応

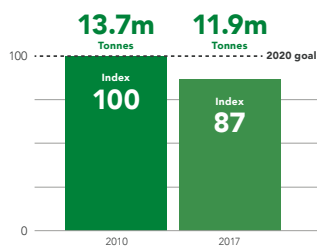
2020年のGHG（温室効果ガス）排出削減目標に向けて

テトラパックは、気候変動およびその影響に対する緊急対策を求めるSDG13に完全に準拠しています。テトラパックの目標は、ビジネスの成長にかかわらず、2020年時点のバリューチェーン全体の気候変動への影響を2010年レベルに抑えることです。

2019年、気候変動情報の開示とサプライヤーエンゲージメントに対して、テトラパックは3年連続で、CDPからリーダーとして認められました。これは、バリューチェーン全体で気候への影響を最小限に抑え、再生可能な電力の使用を増やすテトラパックの取り組みが評価されたことを示しています。

テトラパックは調達から製造、製品と機械の使用から廃棄まで、バリューチェーン全体で環境への影響を最小限にすることを最大の目標にしています。

バリューチェーン全体にわたる進歩
二酸化炭素排出量(100万トン単位)



二酸化炭素排出量 vs 生産の伸び
生産量が増加しているにもかかわらず
二酸化炭素排出量は減少



2020年の環境目標を達成するなか、2010年以降にテトラパックがバリューチェーン全体で削減したCO₂は累積で1,000万トン以上になります。

カーボンプライシング

テトラパックは社内のD & E Capital Equipment組織の炭素価格を使用して、温室効果ガス排出量の削減と再生可能エネルギーへの投資の促進につながる行動の変化を推進しています。

テトラパックの新しいポリシーでは、緊急で承認された業務以外に航空便を使用することができません。販売企業が勧告を無視して航空便を使用した場合、料金を徴収します。徴収した料金はDevelopment & Engineering部が再生可能エネルギーに投資します。

テトラパックは、Caring for Climate、国連グローバル・コンパクト、パリ行動誓約、SBT、RE100に署名しています



SCIENCE BASED TARGETS (科学的根拠に基づく排出削減目標)



SBT（科学的根拠に基づく排出削減目標）イニシアチブは、低炭素経済への移行における企業の競争優位性を強化する手段として、科学に基づいた目標の設定を支持します。



2016年には、テトラパックの気候への影響の削減目標が、食品包装業界の企業として初めてSBTイニシアチブに承認されました。テトラパックは、操業による温室効果ガス排出量を2030年までに2015年の基準値から42%、2040年までに58%削減し、バリューチェーン全体での温室効果ガス排出量を2020年までに収益単位あたり16%（基準値は2010年）削減することを確約しています。これらの目標に向けた進捗の結果は、テトラパックのウェブサイトですら今年中に発表されます。

テトラパックは、操業による温室効果ガス排出量を2015年の基準値から2030年までに42%、2040年までに58%削減することを明言しています。

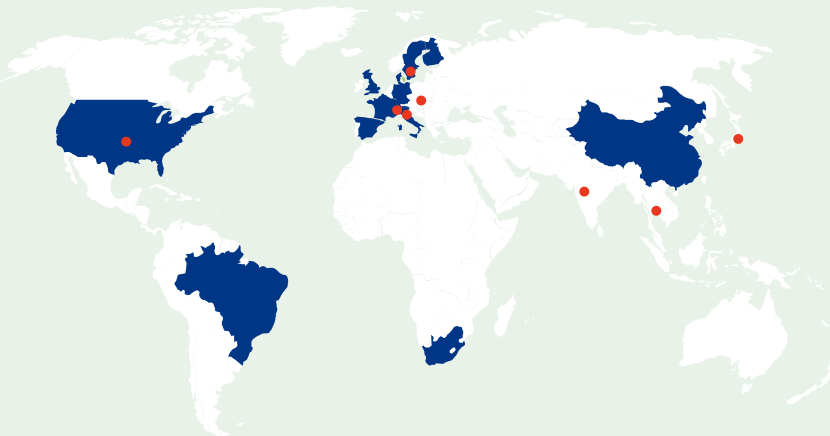
現在の科学に基づく目標は、地球全体の気温上昇を2°C未満に抑えることですが、新しい戦略では、世界の気温上昇を1.5°C以内に抑え、現行の誓約のさらに先まで見据える必要があります。



テトラパックは、操業による温室効果ガス排出量を2030年までに2015年の基準値から42%、2040年までに58%削減します



テトラパックの再生可能な電力への投資



- 太陽光発電でグリーン電力を生産している8つの工場
- 56の製造拠点のうち33か所で100%再生可能電力の契約を締結



テトラパックの工場に設置された太陽光発電

設置数	8 (2018年時点)
設置容量 (kW)	2,644

2018年の再生可能電力消費量 (MWh)	460,000 (推定)
-----------------------	--------------

テトラパックの事業活動：変化のための強化

テトラパックは長年にわたり、自社の操業エネルギーの効率化に投資してきました。最初の全体的なエネルギー監査は2001年に実施され、プロセス改善および行動の変化により大幅にエネルギーを節約できることが確認されました。

2016年、エネルギー効率の良い操業に向け確実に前進したテトラパックは、2030年までに事業電力を100%再生可能な電力にするというRE100へのコミットメントを発表しました。2018年に目標の50%を達成したことによって、2020年までの80%達成、2030年までの100%達成が現実的な道筋として明確になってきています。

現在、テトラパックは、操業する地域ごとに新たな再生可能なプロジェクトに直接着手する方法を評価しています。

2018年に、1メガワットの太陽光発電システムを2基購入し、タイのラヨンと米国のデントンの工場に設置しました。

これは、より多くのプロジェクトの可能性を秘めた出発点にすぎません。さらに、再生可能な電力の世界的な可用性を推進す

る方法として、電力販売契約の使用も検討評価されています。

テトラパックのサプライヤー：順調に前進

テトラパックのサプライチェーンによる温室効果ガス排出量は、バリューチェーンの約45%を占めます。テトラパックは、サプライヤーやパートナーの立場に立って、彼らの業務や供給が効率よく実行されているか正しく認識し、その結果を毎年サプライヤーの実績として評価します。

工場を進むリサイクル、廃棄物の削減

テトラパックでは継続する労働文化、WCM (World Class Manufacturing) 活動を利用して、業績の良い現場を基準に従って評価しています。評価に従って優良事例として記録し、全社レベルで確実に評価が反映されるようにします。技術の改善は廃棄物の削減に役立ちます。テトラパックでは、廃棄物の100%近くをリサイクルし、残ったわずかな廃棄物は規制に従って正しく廃棄しています。



2020年までに事業全体に

80% 再生可能な電力
を供給する計画は順調に進んでいます



4%

20年間で初めてテトラパックの工場で排出された廃棄物が4%以下となりました



全ての人々のために 食品を守る



全ての人々のために食品を守る

持続可能な食品のバリューチェーン

すべての人々のために食品を守る

市場をリードする革新的なテトラパックのプロセッシング、パッケージングおよびサービスのソリューションは、現代の最も差し迫った開発課題の1つである食糧の安全保障への取り組みで中心的な役割を果たしています。バリューチェーンのパートナーと連携することにより、世界の人口が急速に増加するなかでも、都会から離れた地域に住む、冷蔵保存を利用できない多くの人々に安全で栄養価の高い風味豊かな製品を届けることができます。また、テトラパックの最先端の装置、食品加工処理および紙容器充填包装は、食品の長期保存を可能にし腐敗を防止します。これらのソリューションによって、人為的に生み出された温室効果ガス排出量の約8%に該当する食品ロスにも取り組んでいます。

数百万人の子どもたちに安全な栄養を提供

今も多くの国の子どもたちが空腹のまま学校に通っています。子どもたちが学校で栄養を摂取できるように、多くの政府が学校給食プログラムの強化に尽力し、テトラパックの容器が子どもたちに安全な栄養を提供しています。テトラパックの容器は、現在多くの国で実施されている政府プログラムで利用され、59か国では容器がプログラムの一部になっています。持ち運びが便利で、テトラパックのアセプティック技術で長期保存が可能な容器は、ストロー（間もなく、すべて紙製になります）が付属しているため食品の安全性にも優れています。テトラパックの紙容器は、食品業界がこれらのプログラムに参加するための実現手段です。テトラパックでは紙容器が秘める影響力を誇りに思っています。



19.4%

↓ 1% 10年間で

ドミニカ共和国では、10年間で慢性的な栄養失調の割合が19.4%から1%にまで減少しました



就学率向上

7.6%

学校給食プログラムは教育への機会を増やしました。ザンビアでは、プログラム開始後1年間で就学率が7.6%増加し、合格率も16.3%増加しました



ペルーでのリサイクル促進



世界食糧計画によると、ペルーの子どもたち

の13%が慢性的な栄養失調に苦しみ、22%の人々が栄養価の高い食品を手に入れないとされています。さらに、教育を通じて現地の文化の保存やケチュア語族の保護も必要です。

テトラパックのお客であるP&D Andina Alimentos, S.A.が発売した新しい栄養強化乳製品Yoleitブランドは、パッケージにスペイン語とケチュア語が併記され、民族の保護という新しい歴史を切り開きました。この飲料は地元産の穀物を含み、ビタミンA、D、E、カルシウム、亜鉛、マグネシウムが強化され、容器には栄養価の高さ、衛生、リサイクルを推進する教育的なメッセージが記載されています。

ペルーの国家学校給食および栄養プログラムは、開発・社会抱合省であるQali Warmaが運営しています。このプログラムは、約370万人の学童を対象とし、そのうち52万3,000人にテトラパックの容器に充填された栄養強化飲料が提供されています。さらに、Qali Warmaは学校給食プログラムのサプライヤーとテトラパックの協力により、38の学校から使用済み紙容器を回収し、教師に栄養と環境への配慮について積極的なトレーニングを展開することで意識の向上にも努めています。



製品の処方に関する テトラパックの 専門知識は

乳業界が栄養不足の子どもたちに栄養価の高い食品を提案する際に役立ちました。

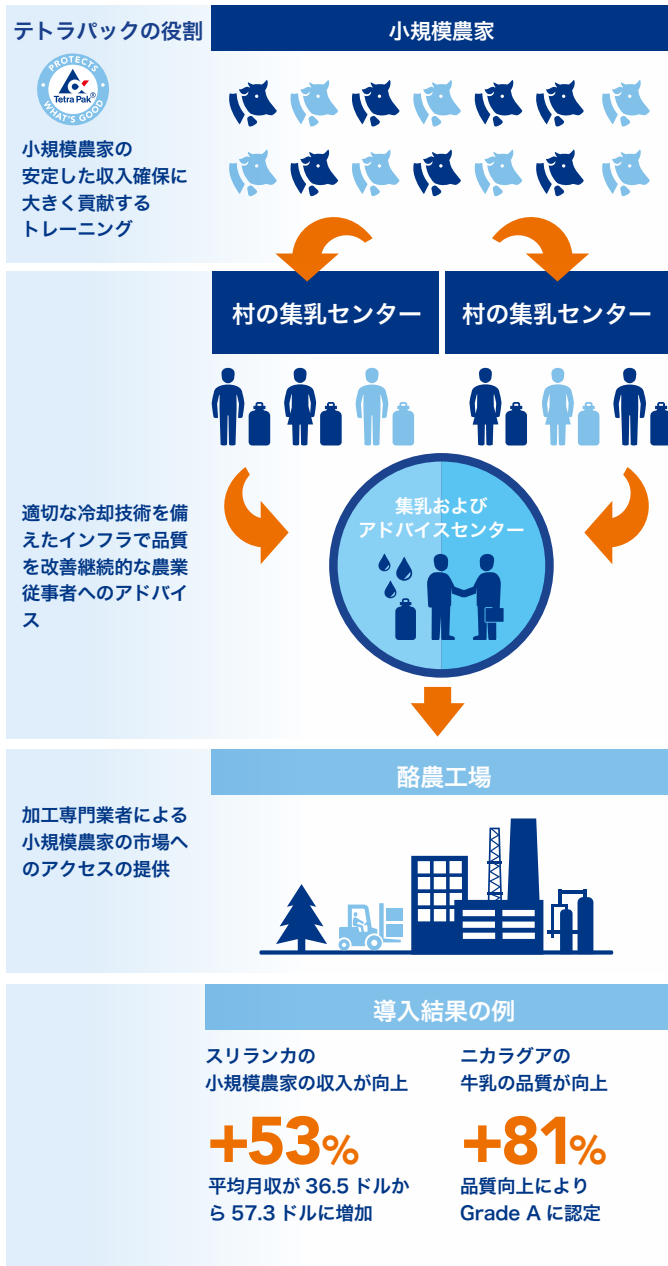


すべての人々のために食品を守る

持続可能な食品のバリューチェーン 続き

地域独自のソリューションで生活を変える

テトラパックのデイリーハブモデルは、新興国の小規模農家を乳製品加工業者と結びつけます。地域の供給ネットワークの強化によって、高品質な牛乳を環境的、社会的、経済的に持続可能な方法で安定して供給することができるようになります。このテトラパックの提案には、安定した収入を得られるよう、持続可能な農業経営や畜産についてのトレーニングも含まれています。トレーニングによる効果は大きく、テトラパックではより多くのパートナーに参加を呼びかけ、トレーニングの提供を強化しています。



ケニアの新しいデイリーハブプロジェクト



Uplands Dairy は、ケニアのキアンブカウンティで農場を経営しています。

酪農は主要な収入源であり地域の栄養源ですが、農場の管理が不十分なため品質も生産性も低く、それにより十分な所得も得ることができません。ケニアでは国全体が深刻な栄養不足に悩まされています。

テトラパックは、他の国で実践済みのデイリーハブプロジェクトを Uplands Dairy と開始しました。開始するためには、農場のアセスメント、技術支援、生産能力の確立、ベストプラクティスの紹介が必要です。この他、Uplands と取引をしていない農家にもデイリーハブプロジェクトを広めるために、指導者のトレーニングもしています。

ケニアにおけるデイリーハブプロジェクトは、すでに乳牛 1 頭当たりの牛乳の生産量が 150% 増加し、確実な成果が出ています。

地域全体で、昨年の牛乳生産量が 16% 増加したのに対し、Uplands の集乳の費用は 5% 減少しました。プロジェクトチームは、トレーニングサービスを拡大し、さらに多くの小規模農家がサービスを利用できるように計画を進め、目下その計画に参加できるパートナーを募集中です。

+16%

全体の集乳量

7,000

Uplands に供給している農家の数



人々を守る

最大の強みに
対する認識





人材と開発 最大の強みに対する認識



テトラパックは、採用した時から退職する時まで、キャリアを積むことに意欲的な社員を支援します。社員のリーダーシップや技術的能力への投資はテトラパックの事業を成功に導く投資でもあります。

成功を収める、持続可能な労働力

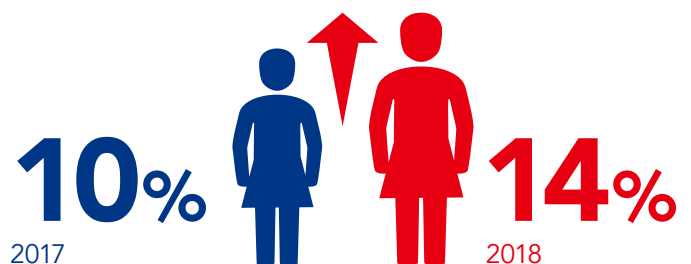
テトラパックは、人間の多様性が不可欠で隠すべきものでもなく、またそのメリットが評価できる職場文化の定着を目標にしています。本当の意味で多様な作業環境が維持できることが、テトラパックのビジネスをこれからも発展させる重要な鍵になります。人は尊敬され受容されることによって、自らを肯定的に受け止め、すべてに対して積極的に行動できるようになります。また、テトラパックはお客様が多様であることを認識しています。またお客様もテトラパックが同様に多様であることを求めています。

2018年は多様性と受容性の戦略を実践に移した年でした。実践するために、多様性のあらゆる側面（年齢・性別・人種・国籍…）に焦点をあてました。主な結果は次のとおりです。

- 上級管理職の女性の割合が10%から14%に増加し、マネージャーレベルの女性は23%から24%に増加しました。わずか1年という短い期間を考えると驚異的な増加です。
- フレックスタイム制の導入を2倍に増やしました。これにより、フレックスタイム制は、テトラパックが事業を行っているほぼすべての国で導入されています。
- 現在、すべてのリーダーに対し多様性と受容性のトレーニングを提供しています。2019年中にすべてのリーダーに対し受講を義務付ける受容性リーダーシップのコースが開始されます。

将来に備えて、テトラパックでは2019年のさらなる改善に向けた計画に取り組んでいます。経営陣の各メンバーは、事業分野における年齢、国籍などの多様性のギャップをなくすことを計画していましたが、そのほとんどが、リーダーシップレベルでのジェンダーの格差をなくすことです。また、テトラパックではさまざまな方法で有能な人材を募集しています。たとえば、ソーシャルメディアを介した採用、インターンシップによる採用、女子学生に自然科学に親んでもらうプロジェクトやロールモデルとなる女性社員との対談プロジェクトなど、さまざまな方法を試んでいます。

上級管理職の女性の割合



学習と自己啓発

テトラパックでは戦略の実現に全ての従業員が携わっています。テトラパックは、採用した時から退職する時まで、トレーニングと開発を通じて従業員を支援します。

従業員のフィードバックに応じて、従業員能力開発プログラムを継続的に改善した結果、全従業員の2018年の平均学習時間数は2016年の24.1時間から34時間に増加しました。

テトラパックでは、継続したやりがいのあるキャリアや生きがいを感じられる仕事はどのようにすれば手にすることができるか、従業員に働きかけるようにしています。そのためには、すべての従業員が最高の能力を発揮できるように、特別な学習と能力開発のチャンスを提供する必要があります。

2018年には、新入社員を迎える方法を改善するインダクションフレームワークを立ち上げました。このフレームワークでは、グローバルなテトラパックとローカルなテトラパックを紹介し、テトラパックのビジネスの仕組みと仕事のポジションがどの位置にあるかを社員に説明します。これにより、社員全員が自分の立ち位置を理解し、実際の仕事をスムーズにスタートさせることができます。

フィードバックの共有および成功の促進

テトラパックでは、優秀な人材を確保し、テトラパックでの目標達成や成功を支援していきたいと考えています。

2018年、従業員の大半がパフォーマンス管理活動に参加しました。2019年にはブルーカラーの従業員の84%がこの取り組みに参加しています。テトラパックのパフォーマンス管理プロセスは9か国語で提供されていますが、誰もが簡単にパフォーマンスへのフィードバックを要求、提供、共有できるように、ソフトウェアを改善し重要なプロセスを簡素化しました。

パフォーマンス管理プロセスは、最後のフィードバックの修正後、実装されて現在稼働中です。

表彰制度

2018年のリーダーシップエクセレンスアワードは、サウジアラビア ジッダの工場長が受賞しました。彼は、厳しい雇用環境の中で組織の能力と成熟度を向上させ、工場全体でレベルの高い従業員エンゲージメントを確保しました。

現在と未来の人材

未来の人材

テトラパックの世界規模の人材プログラムでは、将来性のある新卒者を雇用し、最初の仕事ですばらしい機会を提供することで、次世代の有能な従業員を開発しています。テトラパックではこうした次世代の社員に対して惜しまず投資しています。トレーニングや能力開発のプログラムにいつでも参加できるように、世界共通のシステムが提供されています。2018年には180人の新入社員が入社し、2017年度の入社組と合せると350人になります。1年も経つと、先輩やマネージャーからの前向きなフィードバックによって新入社員も確実に成長します。

テトラパックは、このグローバルなプログラムを使用し、国や性別の壁を取り払い、職場環境の多様性を推進します。2019年のプログラムのための3回目の募集活動は始まったばかりです。

2018年

180 名の新入社員
が入社

2017年度と合せると



計 **350** 名





安全衛生と心と体の健康 従業員を守る

テトラパックのアプローチ

いつでもどこでも安全で健康が第一。職場安全衛生（OHS）は工場での作業のみが対象ではありません。全員に影響があります。2018年、テトラパックのすべての製造拠点が世界のOHS規格であるOHSAS 18001に準拠しています。世界的なOHS管理システムが、まもなく完全に導入される予定です。テトラパックでは継続的な改善に努めながらOHSデータを追跡しています。

影響の追跡

テトラパックは、毎年自己評価を行い、OHSを管理する方法を継続的に監視します。2018年、テトラパックのOHS評価プログラムの一環として19の販売会社を評価しましたが、2019年末までに、すべての非製造拠点を評価する予定です。

2018年には、OHSチームを各クラスターのサービスおよびプロセッシングOHSマネージャーで強化しました。これらの役職はOHSの完成度を向上するために、地域の計画に応える上で役立ちます。各工場は継続的に地域的な改善の3年計画を達成しています。

安全運転

テトラパックは2018年、運転サービス（バス、長距離バス、タクシーなど）のサプライヤーが、テトラパックが設定した最小限の安全要件を満たしていることを確認する手順を導入しました。手順は次のグラフを参照してください。

安全な旅ガイド



テトラパックの最小の道路安全基準は？

調達された会社が守らなければならない強制的な規則は、旅行中、私たち乗客を保護することです。これらの基準が満たされない場合は、旅行を続けることはできません。

安全でないと感じた場合
率直に伝える
最小の安全基準について説明する
ドライバーが無責任な場合は、安全を確認してできる限り早く車を降りる

すみませんが、運転中の電話はテトラパックの最小の安全基準の違反です。電話を切ってくださいませんか？

どうすれば安全に会話できますか？

出発前

考える



● シートベルトがあるか



● 車の状態
● 乗車人数
● 安全な駐車場

疑問がある場合は

旅行が遅れても車に乗らない
事前に電話で状況を連絡する
スポンサー会社に電話をかけて別の車を手配してもらう

乗車中



● 注意散漫
たとえば、電話/カーナビ



● 乱暴なまたは無謀な運転
● 疲労
● 脇酩



● スピード違反またはスピードの出し過ぎ

注意した後



● 率直に話せないと感じる
● ドライバーが危険な運転を続ける



インシデントをスポンサー会社に報告する



テトラパックのスポンサー会社の受付に電話し、危険な車またはドライバーを報告する

Safe & Healthy
Everyday. Everywhere.

心と体の健康

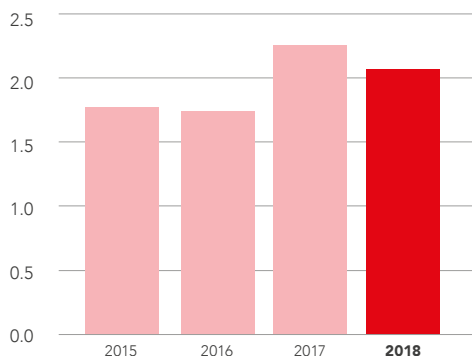
テトラパックでは「心と体の健康」を重要なアプローチと位置づけています。統一されたイニシアチブによって、本社から工場のフロアまで、テトラパックの事業のあらゆる部分に展開します。テトラパックは2018年に、騒音を着実に管理する新たな手順を開発し、世界的に心と体の健康プログラムの展開を開始しました。

安全実績

2018年、2名の死亡者を出しました。交通事故で1人の従業員が亡くなり、もう1人は設置プロジェクトに参加していた請負業者でした。テトラパックは、これらの悲劇的な事故から学ぶことを決意し、詳細なアクションプランを策定しています。

12か月平均の休業災害

1,000,000労働時間ごとの休業災害



対象範囲：テトラパック従業員および非正規雇用の従業員に関するすべての事故

グローバルプログラム

「チームのパフォーマンスと私たちがテトラパックの労働安全衛生の旅に添える価値を誇りに思います。たとえば、ここジグダでは作業員が毎月繰り返す所定のタスクを特定し、これらのタスクを実行し記録することを促すモバイルアプリケーションを開発しました。1人1人が自覚を持つことで、テトラパックの事業が可能な限り安全になります。」

ジグダ工場 工場長
BULENT KOZAK



グローバルプログラム



2018年にテトラパックは、ヨーロッパ、南米およびアジアの14か国で心と体の健康プログラムの最初のフェーズを展開しました。このプログラムでは「指導者を養成する」アプローチが使用され、地域の人事部長に対し各国でのプログラムを実施・支援するスキルを提供します。

2018年、本社で養成した24名の指導者が482名の地域のマネージャーを養成しました。このプログラムは、従業員に3つのレベルのサポートを提供します。

1. 一次サポート - 心と体の健康の問題の異なった原因と症状の認識を高め、自身の心と体の健康を管理するためのステップを提言します。
2. 二次サポート - 心と体の健康に関するリスクアセスメントおよび心と体の健康に関連する会話を行う方法を学ぶトレーニングを含み、ツールをマネージャーに提供します。
3. 三次サポート - 燃え尽き症候群が発生した場合にサポートを提供します。テトラパックの職場復帰プロセスでは、心と体の健康の悪化の原因になった同じ環境に従業員を戻さないことを保証します。

2019年と2020年には、残りの地域でこのプログラムが展開される予定です。



SUSTAINABILITY REPORT 2019

[TETRAPAK.COM/SUSTAINABILITY](https://www.tetrapak.com/sustainability)